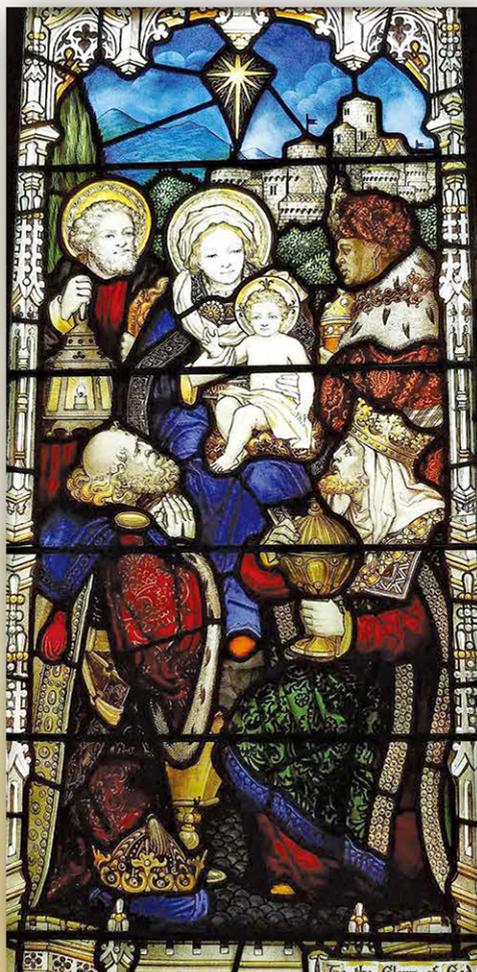


2022年 キリスト教一致祈禱週間

1月18日～25日



わたしたちは東方でそのかたの星を見たので、拝みに来たのです
(マタイ2・2)

日本キリスト教協議会
カトリック中央協議会

目 次

キリスト教一致祈祷週間を準備する方々へ	2
2022 年の聖書テキスト	4
2022 年のテーマの解説	5
2022 年キリスト教一致祈祷週間の資料の準備	10
エキュメニカル礼拝	12
はじめに	12
礼拝式文	13
付録	24
八日間の聖書の黙想と祈り	32
中東教会協議会	50
キリスト教一致祈祷週間のテーマ一覧 (1968 - 2022)	55
キリスト教一致祈祷週間に関する歴史上の重要な年	58

キリスト教一致祈禱週間を準備する方々へ

一致を求めて——年間を通じて

キリスト教一致祈禱週間は、北半球では、伝統的に1月18日から25日に行われます。この日程は、1908年にポール・ワトソンによって提案されたものですが、これは当時祝われていた聖ペトロの祝日と聖パウロの祝日の間の期間で、日付そのものに象徴的な意味があります。しかし、南半球では、1月は休暇の季節なので、他の日程、たとえばペンテコステ（聖霊降臨の主日）前後に変更する地方もあります(1926年に信仰職制運動により提案された日程)。この日も、教会の一致のために象徴的で意義深い日です。

日程については柔軟に対応できることにご留意ください。諸教派間ですでに実現している交わりの状況を伝え、キリストの御心である完全な一致を求めてともに祈るために、この資料が年間を通じて用いられるよう願っています。

各地の状況に合わせてテキストを用いる

この資料は、可能な場合はいつでも、各地域の状況に合わせて適用できるように作成されています。その場合、各地の典礼や礼拝の様式、社会的・文化的背景全体が考慮されなければなりません。そのような適用は、理想としては、エキュメニカルな形で行われるべきです。いくつかの地域ではすでに、この資料を適用するためのエキュメニカルな体制が整っていますが、そうでない地域では、適用の必要性がきっかけとなって、そうした体制が築かれるよう願っています。

キリスト教一致祈禱週間資料の使い方

- * 教会やキリスト教共同体の団体が、協力して一回の合同礼拝を行う場合には、「エキュメニカル礼拝式文」をそのまま使うことができます。
- * 教会やキリスト教共同体の団体は、固有の礼拝にこの資料を組み入れて用いることができます。たとえば、「エキュメニカル礼拝式文」や「八日間

の聖書の黙想と祈り」、その他の祈りを、それぞれの状況に応じて用いることができます。

- * 一週間を通して一致祈祷週間の礼拝を毎日ささげる共同体は、その礼拝の資料として「八日間の聖書の黙想と祈り」を使うことができます。
- * キリスト教一致祈祷週間のテーマに関する聖書研究を行いたい場合には、「八日間の聖書の黙想と祈り」に提示されている聖句や説明を基礎資料として使うことができます。また、日々のディスカッションは、共同祈願で締めくくることができます。
- * 一人で祈りたい人も、自分の祈りの意向に集中するためにこの資料を役立てることができます。そうすれば、自分たちが、キリストの教会を目に見える形でさらに一致させるために祈っている世界中の人々との交わりの内にあることを、忘れずにいられるでしょう。

2022年の聖書テキスト

マタイ 2・1 - 12

イエスは、ヘロデ王の時代にユダヤのベツレヘムでお生まれになった。そのとき、占星術の学者たちが東の方からエルサレムに来て、言った。「ユダヤ人の王としてお生まれになったかたは、どこにおられますか。わたしたちは東方でそのかたの星を見たので、拝みに来たのです。」これを聞いて、ヘロデ王は不安を抱いた。エルサレムの人々も皆、同様であった。王は民の祭司長たちや律法学者たちを皆集めて、メシアはどこに生まれることになっているのかと問いただした。彼らは言った。「ユダヤのベツレヘムです。預言者がこう書いています。

『ユダの地、ベツレヘムよ、

お前はユダの指導者たちの中で、決していちばん小さいものではない。

お前から指導者が現れ、

わたしの民イスラエルの牧者となるからである。』

そこで、ヘロデは占星術の学者たちをひそかに呼び寄せ、星の現れた時期を確かめた。そして、「行って、その子のことを詳しく調べ、見つかったら知らせてくれ。わたしも行って拝もう」と言ってベツレヘムへ送り出した。彼らが王のことは聞いて出かけると、東方で見た星が先立って進み、ついに幼子のいる場所の上に止まった。学者たちはその星を見て喜びにあふれた。家に入ってみると、幼子は母マリアと共におられた。彼らはひれ伏して幼子を拝み、宝の箱を開けて、黄金、乳香、没薬を贈り物として献げた。ところが、「ヘロデのところへ帰るな」と夢でお告げがあったので、別の道を通して自分たちの国へ帰って行った。

2022年のテーマの解説

「わたしたちは東方でそのかたの星を見たので、拝みに来たのです」

(マタイ 2・2)

マタイによる福音書(2・1-12)によれば、ユダヤの空に星が現れたことは、長い間待ち望んできた希望のしるしです。そのしるしは、博士たちと地球上のすべての人々を、真の王、救い主が示される場へと導きます。この星は神からの贈り物であり、全人類に対する神の愛に満ちた現存を示すものです。博士たちにとっては、王が誕生したことを示すものです。その光は、人類をより大きな光であるイエスへと導きます。それは、すべての人を照らす新しい光であり、わたしたちを父の栄光とその輝きへと導きます。イエスは、わたしたちの暗闇の中に入ってこられる光です。イエスは、聖霊によって、おとめマリアの胎内でからだを受け、人となりました。わたしたちのために、わたしたちの救いのために、ご自分を無にして、死に至るまで従順になられました。イエスは、御父への道を照らし、わたしたちが御父を知り、御父の愛を知ることができるようにされたのです。御父が御ひとり子をわたしたちに与えてくださったのは、わたしたちがそのかたを信じるにより、滅びることなく、永遠のいのちを得られるようにするためです。

博士たちは星を見つけ、その星を追いました。研究者たちはこれまで、この博士たちの姿に、当時の民族の多様性の象徴と、東方で輝く星の光の中に示される神の呼びかけの普遍性のしるしを重ね合わせてきました。彼らはまた、生まれたばかりの王を熱心に探し求める博士たちの姿に、真理、善、美を求める全人類の渴望も見いだします。人類は、神をあがめるために、創造の初めから神を待ち望んできました。時が満ちて、神の子が誕生したその時に、星が現れました。それは、長い間待ち望んできた、受肉の神秘において始まる神の救いのわざの前触れでした。

博士たちは、神が望んでおられる、すべての民の一致をわたしたちに示しています。彼らは遠く離れた国々からやってきて、多様な文化を代表していますが、生まれたばかりの王を見たい、知りたいという同じ願いに駆られています。そして、ベツレヘムの慎ましい小屋に集い、ただひたすら敬意を表し、贈り物を捧げます。キリスト者は、神が望んでおられるこの一致をもたらす、み国へのしるしとなるよう求められています。異なる文化、人種、言語から引き寄せられ、キリストを求め、キリストを拝みたいという共通の願いを分かち合っているのです。ですから、キリスト者の使命は、この星のようなしるしとなり、神を渴望する人々の手引きとして、すべての人をキリストのもとに導き、神がすべての民を一つにされるための道具となることです。

博士たちの敬意を表す動作には、宝物を開け、贈り物をささげる行いが含まれています。それらの贈り物は、初期キリスト教以来、キリストご自身のさまざまな側面を表すものとして理解されてきました。王であることを表す黄金、神性を表す乳香、そしてキリストの死を予感させる没薬です。この多様な贈り物は、イエスの人格と働きに対して、キリスト教諸教派がもっている固有の洞察のイメージをわたしたちに伝えています。キリスト者が集まり、それぞれの宝物を開き、キリストをあがめつつ、その心を開け放つとき、これらの洞察の賜物が分かち合われ、すべての人が豊かにされます。

その星は東方に昇りました（マタイ2・2参照）。太陽が昇るのは東からであり、高い所からのあけぼのの光（ルカ1・78参照）によって祝福してくださる神のあわれみにより、救いがもたらされるのは、中東と呼ばれる地からです。しかし、中東の歴史は、昔も今も、紛争と対立にあふれ、血に染まり、不正と抑圧により暗雲に覆われています。近年でも、パレスチナのナクバ（1948年の第一次中東戦争により大勢のパレスチナ人が難民となった）以来、この地域では血なまぐさい戦争や革命が繰り返され、宗教的な過激主義が台頭しています。博士たちの物語には、多くの暗い要素が含まれています。特に、ヘロデはベツレヘムとその周辺一帯にいた2歳以下の男の子を一人残らず殺すよう命じまし

た（マタイ 2・16 - 18 参照）。この物語の残酷さは、中東の長い歴史と困難な現状と共鳴するものです。

中東は、みことばが根付き、30 倍、60 倍、そして 100 倍もの実を結んだ地でした。使徒たちが地の果てにまで福音を伝えるために出発したのも、この中東からでした（使徒言行録 1・8 参照）。中東は、数えきれないほど多くのキリストのあかし人と殉教者をもたらししました。しかしながら今日、小規模なキリスト教共同体の存在が脅かされ、多くの人が、より安全で穏やかな生活を求めて、故郷を離れることを余儀なくされています。中東のキリスト教の光は、幼子イエスの光と同様、この困難な時代にますます脅かされています。

エルサレムは、全人類が救われ、あがなわれた平和の都であり、キリスト者の力強いシンボルです。しかし今日、この都市では平和が失われています。さまざまな党派が自らの要求を主張し、他の党派を無視しています。エルサレムで唱えられる祈りさえ、政治的・軍事的措置の対象となっています。エルサレムは王の都でした。実際、エルサレムでイエスは王と呼ばれ、勝者として迎えられます（ルカ 19・28 - 44 参照）。博士たちも当然のことながら、星に示された新しく生まれた王は、この都で見つけられると思っていました。しかしながら、物語によると、エルサレムの町全体は、救い主である王の誕生によって祝福されるどころか、今と同じように騒然としていたのです。

今日、中東はかつてないほど、人々に寄り添う天の光を必要としています。ベツレヘムの星は、神がご自分の民と共に歩み、その痛みを感じ、その叫びを聴き、あわれんでくださるしるしです。それは、たとえ状況が変わり、恐ろしい災害が起きても、神の誠実さは揺るがないことをわたしたちに再確認させてくれます。主はまどろむことも、眠ることもありません。人々が道に迷ったり、危険にさらされたりしても、主がそばを歩いて連れ戻してくださいます。信仰の旅とは、いつもご自分の民を見守り、歴史と人生という複雑に入り組んだ道で私たちを導いてくださる神と共に歩むことなのです。

中東のキリスト者が、今年のキリスト教一致祈祷週間のテーマとして、東方に昇った星を選んだのにはいくつかの理由があります。西洋の多くのキリスト者は降誕祭を祝いますが、今でも多くの東方教会のキリスト者は、さらに古くからあった祭として、主の公現の祭日を祝います。この日は、ベツレヘムとヨルダンで、神の救いが諸国に啓示されたことを記念する日です。主の公現に焦点を当てることは、ある意味、中東のキリスト者が世界中の兄弟姉妹に捧げることのできる宝物だとも言えるでしょう。

ヘロデが罪のないのちを奪おうと企てたエルサレムの騒乱のさなかに、星は博士たちを導いていきます。今日でもなお、世界のさまざまな場所で、罪のない人々が暴力を受け、暴力の脅威にさらされ、若い家族はヘロデやアウグストゥスのような暴君から逃れています。このような状況の中で人々は、神が自分たちと共におられることを表すしるしを求めます。生まれたばかりの王、優しさや平和と愛の王を求めます。それにしても、その王へと導く星はどこにあるのでしょうか。教会の使命はまさに、世の光であるキリストへの道を照らす星となることです。その星になることで、教会は、苦悩に満ちた世界における希望のしるしとなるのであり、ご自分の民とともにおられる神、人生の難局においても寄り添ってくださる神の現存のしるしとなるのです。キリスト者は、キリストが再び国々に啓示されるよう、ことばと行いによって、その道を照らすよう招かれています。しかし、わたしたちの間にある分裂は、キリスト者のあかしの光を曇らせ、道を不明瞭にし、人々がキリストへの道を見つける障害となります。逆に言えば、キリスト者がキリストを礼拝して一つとなり、贈り物を交換してその宝を開くことは、神がご自分の被造物全体に望んでおられる一致のしるしなのです。

中東のキリスト者は、自分たちの試練や苦難の多くが世界中に伝えられており、闇を克服する救い主へと導く光を世界が切望しているという認識のもとに、この資料を、「キリスト教一致祈祷週間」のために提示します。COVID-19の世界的なパンデミックとそれに伴う経済危機のために、また、もっとも弱く無

防備な人々を守ることでできない政治・経済・社会の構造のために、暗闇を照らす光が世界でなお一層、求められています。二千年前に中東という東方の地で輝いていた星は、今もわたしたちを、キリストがお生まれになった飼い葉桶へと招いています。神の霊が生き生きと働いておられる場へと、自分たちが洗礼を受けたという事実、そして、回心へとわたしたちを引き寄せているのです。

博士たちは救い主に会い、ともにそのかたを礼拝した後、夢で告げられたとおり、別の道を通して自分たちの国に戻ります。同じように、ともに祈ることで分かち合われる交わりは、新たな道を通して自分たちの人生、教会、そして世界に戻るように促してくれるにちがいありません。新しい道を通ることは、個人生活、教会、社会において悔い改め、新たに生まれるようにとの招きでもあります。キリストに従うことこそが、わたしたちの新しい道です。そして、不安定で激変する世界にあって、キリスト者は、星座や輝く星のように、揺らぐことなく決然としていなければなりません。しかし、実際にはどうでしょうか。今日、福音に仕えるためには、人間の尊厳、特にもっとも貧しく、弱く、周縁に置かれた人々の尊厳を守るために尽くさなければなりません。教会には、世界とのかかわり、相互のかかわりにおける透明性と説明責任が求められています。つまり、教会は苦しんでいる人を救い、故郷を追われた人を受け入れ、重荷を負っている人の荷を軽くし、公正で誠実な社会を築くために協力する必要があります。これは、若者がみ心になつた未来を築き、すべての人がいのちと平和、正義、愛を実感できる未来を築けるよう共に働くよう促す、諸教派への呼びかけです。諸教派の間の新しい道とは、目に見える一致への道です。それは日々、勇気と大胆さをもって献身的に探し求める、「神がすべてにおいてすべてとなられるため」（一コリント 15・28）の道なのです。

2022年キリスト教一致祈禱週間の資料の準備

教皇庁キリスト教一致推進評議会（PCPCU）と世界教会協議会（WCC）信仰職制委員会が、キリスト教一致祈禱週間のテキストを作成するために共同で任命した国際チームは、現下のパンデミックのために、今年は直接会うことができず、オンラインで作業を行いました。

PCPCUは、レバノンのベイルートを拠点とする中東教会協議会に、2022年のキリスト教一致祈禱週間のテーマ選定とテキスト案作成の任務を委ねました。中東教会協議会は、「わたしたちは東方でそのかたの星を見たので、拝みに来たのです」(マタイ 2:2)というテーマを選びました。この困難な時代にあつて、わたしたちはこれまで以上に暗闇の中に輝く光を必要としています。そして、その光はイエス・キリストのうちに示されたと、キリスト者は宣言します。

政治的・経済的利益を不当に得るために、当然のように人権が踏みにじられ、前例のない国際的な健康危機に直面し、さらには、2020年8月4日、ベイルートでの爆発事故による人的・物的影響を受けてもなお、この地域のエキュメニカル・グループは、自分たちの作業の成果を、オンラインミーティングを通して懸命に示してくれました。彼らに心から感謝しています。そして、中東と世界中のキリスト者の一致の推進が、さらに尊厳と正義が守られ、皆が平和に暮らせるようになるために、今もこれからも貢献するよう祈ります。

国際チームのメンバー

- Revd. Father Martin Browne, OSB / Glenstal Abbey (Ireland)
- Ms. Anne-Noëlle Clément / Unité Chrétienne (France)
- Revd. Anthony Currer / Pontifical Council for Promoting Christian Unity (Vatican)
- Dr. Ani Ghazaryan Drissi / Programme Executive of the Faith and Order Secretariat at the World Council of Churches (Switzerland)

- Revd. Dr Jochen Wagner / Arbeitsgemeinschaft Christlicher Kirchen in Deutschland (Germany)
- Dr. Hanne Lamparter / German Lutheran Church (Germany)
- Sr. Leticia Candelario Lopez / Verbum Dei Missionary Fraternity (Singapore)
- Revd. Dr Odair Pedroso Mateus / Director of Faith and Order - WCC (Switzerland)
- Revd. Father James Puglisi, SA / Friar of the Atonement, Centro Pro Unione (Italy/USA)
- Revd. Dr. Mikie Roberts / Programme Executive for Spiritual Life - WCC (Switzerland)
- Dr. Clare Watkins / University of Roehampton (England)

中東教会協議会からの参加者

Revd. Father Dr Boulos Wehbe / Greek Orthodox Church of Antioch (Lebanon)

Revd. Dr Rima Nasrallah / Evangelical National Church (Lebanon)

Revd. Father Dr Roger Akhrass / Syriac Orthodox Church of Antioch (Syria)

Dr. John Daniel / Evangelical Synod of the Nile (Egypt)

Sr. Emily Tannous / Maronite Church (Lebanon)

Revd. Father Gabriel Hachem / Greek Melkite Catholic Church of Antioch (Lebanon)

エキュメニカルな礼拝

はじめに

「キリスト教一致祈願週間」には、世界中の様々な伝統や信条を持つキリスト者たちが集まり、洗礼を受けたすべての人の一致のために祈ります。今年の資料と礼拝の準備は、中東教会協議会によって行われました。聖書と典礼文は、マタイによる福音書2章1節から12節、特に2節の「わたしたちは東方でそのかたの星を見たので、拝みに来たのです」という箇所を描かれている、誕生した王への博士たちの訪問から着想を得ています。

推奨する曲を付録に添付します。中東出身の信者が会衆の中にいる場合、その内のいくつかの賛歌を、彼らの指導のもとに自分たちの言語で歌うよう頼んでもよいでしょう。近年、礼拝でデジタル映像を使用するケースが増えているので、オンライン映像のURLも付録に含まれています。今年のテーマに沿った賛歌や歌を、現地の状況に応じて、代わりに用いることもできます。

「キリストの光を分かち合う」と題された場面のために、いくつかのアイテムを用意する必要があります。第一に必要なのは、夜空をイメージするように吊るされた紺色の布です。第二に必要なのは、布につける大きな星です。第三に必要なのは、会衆のための小さな紙製の星です。星を手に取り、天の王への献げ物として、「夜空」につけるよう、状況に応じて、会衆全体に働きかけてもよいでしょう。あるいは、礼拝に参加しているさまざまなグループや共同体を代表する人たちを選んで、星をつけてもらうこともできます。

朗読者に割り当てられた箇所の一部を、複数の朗読者で分担することもできます。同様に、司式者が担当する箇所を、礼拝に参加するさまざまな教派や共同体の聖職者や教会指導者が共有することもできます。彼らが「派遣」と「祝福」を一緒に宣言してもよいでしょう。

礼 拝 式 文

入場

(東方教会の賛歌が歌われ、演奏される中、聖職者と会衆が列を作って入場するⁱ。)

礼拝への招き

司 式 者 父と子と聖霊のみ名によって。

会 衆 アーメン。

司 式 者 兄弟姉妹の皆さん、わたしたちは今日、世界の隅々にいる信仰者と心をつにし、教会の目に見える一致を祈るために集まっています。わたしたちは、中東教会協議会が作成した礼拝用の冊子を用いて祈ります。この冊子は、マタイによる福音書に記されている、生まれたばかりの王への博士たちの訪問から着想を得ています。「わたしたちは東方でそのかたの星を見たので、拝みに来たのです」。わたしたちも東方の星を見つめ、その星に導かれましょう。

すべての病気の人、苦しんでいる人、周縁に追いやられている人、難民、故郷を追われた人とともに、感謝と喜びをもって神の前に進み出しましょう。わたしたちは、神がその光でわたしたちの暗闇を打ち払ってくださることを知っています。教会一致のために祈りをささげているわたしたちとその共同体が、他の人々を救い主イエスへと導く光となりますように。

全能の父であるあなたに栄光がありますように。あなたのご自

(i) 付録参照。

分の被造物を通してご自身を示し、あなたの前に立つよう皆を招いておられます。わたしたちは、それぞれの人生の中でイエスの星を見つめ、博士たちがしたように、イエスをあがめに来ました。わたしたちは今日、イエスに自分自身を献げ、聖霊が来てくださるよう願い求めます。

会 衆 あなたの前にひれ伏し、天の王であるあなたをあがめるために、
東西南北から来たすべての人を互いに結び合わせてください。
アーメン。

賛歌

「O Worship the King」(〇〇ページ)

賛美と告白の祈り

司 式 者 主よ、天地の創造主よ、あなたの栄光をたたえます。あなたは
天空に光を置かれました。光と闇を分け、聖なる時、日、年を
示すしるしをお決めになりました。天に星々を散りばめてくだ
さいました。あなたのみわざは何と力強いことでしょう。天は
あなたの栄光を物語り、大空はみ手のわざを示します。

会 衆 主よ、あなたの栄光をたたえます。

司 式 者 あなたをほめたたえます。あなたはわたしたちが背いても決して
見捨てず、闇を照らす、わたしたちの光、わたしたちの救い
となるよう、御子をお遣わしになりました。いのちは御子のう
ちにあり、そのいのちは全人類の光です。そして、その光は闇
の中で輝いています。

会 衆 主よ、あなたをほめたたえます。

司 式 者 主よ、あなたをあがめます。あなたは聖霊の力を通して、混沌
としたわたしたちの人生に寄り添っておられます。わたしたち
の道を照らし、偽りや疑いにまみれた世界の中で、知恵と信仰
を与えてくださいます。

会 衆 主よ、あなたをあがめます。

司 式 者 主よ、あなたに感謝します。あなたは諸教派や多様な文化の中で、
その光を周囲に映し出すために、わたしたちをこの世に遣わし
てくださいます。また、イエスに自らをささげ、唯一の真の
王であるイエスをあかしするために、わたしたちを遣わしてお
られます。

会 衆 主よ、あなたに感謝します。

司 式 者 すべての民があなたの前にひれ伏し、あなたをあがめますように。わたしたちは幾度も暗闇を好みましたが、あなたはわたしたちに光を与えてくださいました。ですから、あなたのもとで自分たちの罪を告白します。

会 衆 あなたのみ前で告白します。わたしたちは、あなたの道から離れ、あなたの法に背きました。あなたの素晴らしい被造物を汚し、消費主義的な行いによって資源を浪費しました。あなたの川や海をよごし、空気や土壌を汚染し、多くの種を絶滅させました。

(沈黙)

会 衆 わたしたちは兄弟姉妹に対して身勝手な行動をしました。正義への献身よりも自分たちのニーズや欲望を優先させました。自分たちの間に壁を作り、相手への不信感の種を蒔きました。

(沈黙)

会 衆 わたしたちは民族、宗教、ジェンダーによって人々を分け隔てし、自分たちが行いたいかなる戦争においても、イエスが味方してくださると主張しました。主よ、これらすべての思いと行いをおゆるしてください。わたしたちは悔い改めてみ前に出ます。

(沈黙)

司 式 者 わたしたちの主イエス・キリストの父、全能の神よ、時が満ちて、あなたはすべての人をあがなうためにキリストを遣わしてくださいました。わたしたちをあわれみ、罪をおゆるしてください。多くの問題を抱えたこの世界で希望の光として輝くことができるよう、栄光に満ちた主の姿にわたしたちを変えてください。

(沈黙)

司 式 者 全能の神は、わたしたちの祈りを聞き入れ、わたしたちをあわれみ、罪をゆるしてくださいます。

会 衆 わたしたちは声を尽くして賛美する神に、感謝をささげます。

詠唱 聖三祝文（トリサギオンⁱⁱ）

聖なる神

聖なる勇毅（ゆうき）

聖なる常生（じょうせい）の者よ、我らをあわれめよ。

答唱 詩篇 8

朗 読 者 主よ、わたしたちの主よ。あなたの御名は、いかに力強く、全地に満ちていることでしょうか。天に輝くあなたの威光をたたえます。

会 衆 幼子、乳飲み子の口によって。あなたに刃向かう者に向かって砦を築き、報復する敵を絶ち滅ぼされます。

朗 読 者 あなたの天を、あなたの指のわざを、わたしは仰ぎます。月も、星も、あなたが配置なさったもの。

会 衆 そのあなたが御心に留めてくださるとは、人間は何ものなのでしょう。人の子は何ものなのでしょう。あなたが顧みてくださるとは。

朗 読 者 神にわずかに劣るものとして人を造り、なお、栄光と威光を冠としていただかせ、

会 衆 御手によって造られたものをすべて治めるように、その足もとに置かれました。

朗 読 者 羊も牛も、野の獣も、空の鳥、海の魚、海路を渡るものも。

会 衆 主よ、わたしたちの主よ。あなたの御名は、いかに力強く、全地に満ちていることでしょうか。

(ii) 東方正教会版は付録参照（〇〇ページ）。

詠唱

「聖なる霊よ、愛の火を」(Tui Amoris Ignem) ⁱⁱⁱ

第一朗読

イザヤ書 9・2 - 7

詠唱

「Song of Light ^{iv} (シリアの聖エフレム)」

第二朗読

エフェソ 5・8 - 14

アレルヤ唱

福音朗読

マタイ 2・1 - 12

説教

(黙祷もしくは賛歌)

ニケア・コンスタンチノーブル信条 (東方諸教会の伝統にならって)

(iii) テゼ共同体の聖歌。アラビア語版は付録参照 (〇〇ページ)。

(iv) 英語版と録音へのリンクは、付録参照 (〇〇～〇〇ページ)。

わたしは信じます。唯一の神、
全能の父、天と地、
見えるもの、見えないもの、すべてのものの造り主を。
わたしは信じます。唯一の主イエス・キリストを。
主は神のひとり子、
すべてに先立って父より生まれ、
神よりの神、光よりの光、まことの神よりのまことの神、
造られることなく生まれ、父と一体。
すべては主によって造られました。
主は、わたしたち人類のため、
わたしたちの救いのために天からくだり、
聖霊によって、おとめマリアよりからだを受け、
人となされました。
ポンティオ・ピラトのもとの、わたしたちのために十字架につけられ、
苦しみを受け、葬られ、
聖書にあるとおり三日目に復活し、
天に昇り、父の右の座に着いておられます。
主は生者と死者を裁くために栄光のうちにふたたび来られます。
その国は終わることがありません。
わたしは信じます。主であり、いのちの与え主である聖霊を。
聖霊は、父と子から出て、
父と子とともに礼拝され、栄光を受け、
また預言者をとおして語られました。
わたしは、聖なる、普遍の、使徒的、唯一の教会を信じます。
罪のゆるしをもたらず唯一の洗礼を認め、
死者の復活と来世のいのちを待ち望みます。
アーメン。

キリストの光を分かち合う

(夜空をイメージした紺色の布を張り、その上に大きな星をつける。会衆は前に出て、準備されていた紙製の星を取り、その星を布につける。)

司 式 者 ひとつの星が、キリストのもとに博士たちを導きました。その星は今も、キリストのおられるところを指し示しています。キリストがわたしたちに示され、キリストの光はわたしたちの上に注がれています。博士たちが星を追ってベツレヘムに向かったように、今日、わたしたちはこの星の下に集い、空に自分たちの星を加え、教会の目に見える一致のために、自分たちのたまものと祈りを一つにします。その目標に向かって旅をするわたしたちの生活が、キリストを知るよう人々を導く、輝かしいあかしとなりますように。

とりなしの祈り

司 式 者 父と子と聖霊である神のみ前で、信仰と確信をもって祈ります。

朗 読 者 博士たちは、敬意を表し、それぞれの文化や国に特有の贈り物を献げるために東方から来ました。

今日、わたしたちは、さまざまな形式の礼拝と伝統を有する世界中のすべてのキリスト教共同体のために祈ります。

主よ、特にキリスト者の生存が暴力や抑圧によって脅かされている地域で、それらの宝を守ってください。

会 衆 主よ、わたしたちの祈りを聞き入れてください。(唱える、もしくは歌う。)

朗 読 者 主の幼少期は、専制君主ヘロデの命令による暴力と虐殺によって特徴づけられています。

暴力が継続し、その影響がはっきりと表れている地域の子どものたちのために祈ります。

主よ、わたしたちの教会間の一致と相互の愛のきずなを強めてください。力を合わせてみ名をあかすことができるよう、わたしたちを助けてください。抑圧されている人を守り、周縁に追いやられている人を迎え入れるために、絶え間なく働けるよう励ましてください。独裁的、抑圧的な政権に共に立ち向い、自分たちの中にみ国を探し求めることができるよう、わたしたちを勇気づけてください。

会 衆 主よ、わたしたちの祈りを聞き入れてください。

朗 読 者 博士たちによる訪問の後、聖家族は荒れ野を通過して避難し、エジプトの地で難民となりました。

この世界のすべての難民と故郷を追われた人のために祈ります。
主よ、わたしたちが家を失った人を受け入れ、
安全な場所を探し求める人を迎え入れる精神をお与えください。

会 衆 主よ、わたしたちの祈りを聞き入れてください。

朗 読 者 イエスの誕生は、すべての人にとっての良い知らせであり、さま
ざまな国や宗教の人が、御子をあがめるために集います。
他の宗教との調和と対話を求める営みのために祈ります。
主よ、他の人々の歩みを尊重しながら、ともに歩めるよう、わ
たしたちに謙虚さと忍耐をお与えください。

会 衆 主よ、わたしたちの祈りを聞き入れてください。

朗 読 者 博士たちは別の道を通って家に戻っていきました。この激動す
る世界の中で、わたしたちの教会のために祈ります。主よ、わ
たしたちがあなたに従い、あなたをあかしするために、新たな
創造的な方法を見つけ、世界中の人があなたを信じるようにな
るよう、お導きください。

会 衆 主よ、わたしたちの祈りを聞いてください。

朗 読 者 博士たちは、御子を見て、大いに喜びました。
天の父よ、わたしたちが御子をつねに見つめ、道を見失わない
ようにしてください。
主イエスのもとに、わたしたちを一つにしてください。
道であり、真理であり、いのちである主イエスが教えてくださ
った祈りを唱えましょう。

会 衆 天におられるわたしたちの父よ……

賛歌

派遣と祝福^v

司 式 者 さあ行って、光の子として歩みなさい。

会 衆 光の果実は、すべての善意と正義と真実の内にあります。

司 式 者 実を結ばない暗闇のわざに加わらないでください。

会 衆 眠りから目覚めなさい。キリストはわたしたちを照らされます。

司 式 者 すべての共同体に平和がありますように。そして、信仰に基づく愛が、御父と主イエス・キリストからもたらされますように。主イエス・キリストを永遠に愛するすべての人に、恵みがありますように。

会 衆 アーメン。神に感謝。

賛歌

(v) エフェソの信徒への手紙 5～6 章参照。

付録*

O Worship the King

(Hanover)

Robert Grant

William Croft, 1708

1. O wor-ship the King, all glo-rious a - bove; O grate-ful-ly
 2. O tell of his might, O sing of his grace, whose robe is the
 3. The earth with its store of won-ders un - told, Al - migh - ty thy
 4. Thy boun-ti-ful care what tongue can re - cite? It breathes in the
 5. Frail chil-dren of dust, and fee-ble as frail, in thee do we
 6. O mea-sure-less might, in - ef - fa-ble love, while an - gels de -

8
 sing his pow'r and his love; our shield and de - fen - der, the
 light, whose ca - no - py space; his cha - riots of wrath the deep
 pow'r hath foun-ded of old; hath sta - blished it fast by a
 air, it shines in the light; it streams from the hills it de -
 trust, nor find thee to fail; thy mer - cies how ten - der, how
 light to hymn thee a - bove, thy hum - bler cre - a - tion, though

14
 An - cient of Days, pa - vi - lioned in splen-dour and gir - ded with praise.
 thun - der clouds form, and dark is his path on the wings of the storm.
 change-less de - cree, and round it hath cast, like a man - tle the sea.
 scends to the plain, and sweet - ly dis - tils in the dew and the rain.
 firm to the end, Our Ma - ker, De - fen - der, Re - dec - mer, and Friend.
 fee - ble their lays, with true a - do - ra - tion shall sing to thy praise.

From Hymnary.org (based on a score from the Cyber Hymnal)
 Public Domain
 ST. MARY'S CATHEDRAL KUALA LUMPUR, 10.30 AM CHOIR

نسبحة النور لمار أفرام السرياني

يسوع ربُّنا المسيحُ
أشرقَ لنا مِن حشا أبيه

فجاء وأنقذنا مِنَ الظُّلمةِ
وبنوره الوهَّاج أنارَنا

إندفقَ النَّهار على البشر

وانهزم سلطان الليلِ

مِن نوره شرقَ علينا نورُ
وأنار يوننا المظلم

سَيِّجٍ مجده أفاض على المسكوتيه
وأنار اللجج السفلى

مات الموتُ وبأد الظلامِ
وتحطمت أبواب الجحيمِ

وأنار جميع البرايا
ومظلمة كانت منذ القديمِ

قام الأموات الرافدون في التُّرابِ
ومجدوا لأنّه صار لهم مُخلِّصٌ

عملَ خلاصاً ووهب لنا الحياة
وصعدَ إلى أبيه العليِّ

وأنّه أت بمجدٍ عظيمٍ
ينير العيونَ التي انتظرتّه

English translation

Song of Light (Saint Ephrem)

The Light of the just and joy of the upright is Christ Jesus our Lord.
Begotten of the Father, he manifested himself to us.

He came to rescue us from darkness
and to fill us with the radiance of his light.
Day is dawning upon us; the power of darkness is fading away.

From the true Light there arises for us
the light which illumines our darkened eyes.
His glory shines upon the world
and enlightens the very depths of the abyss.

Death is annihilated, night has vanished, and the gates of Sheol are broken.

Creatures lying in darkness from ancient times are clothed in light.
The dead arise from the dust and sing because they have a Saviour.
He brings salvation and grants us life.
He ascends to his Father on high.
He will return in glorious splendour
and shed his light on those gazing upon him.

TAIZÉ CHANT

Tui amoris ignem

The musical score is written for voice and piano. It consists of two systems of music. The first system has a vocal line in treble clef and a piano accompaniment in bass clef. The lyrics are: HA-LOU-MA YA ROUHA 'L-LAH AD-RE-M FI NA NAR AL-MA-HAB-BA. The second system also has a vocal line and piano accompaniment. The lyrics are: HA-LOU-MA YA ROUHA 'L-LAH HA-LOU-MA YA ROUHA'L-LAH. The music is in 4/4 time and G major.

Ven, Es-pi-ri-tu de Dios y de
tu a-mor en-cien-de la I-la-ma. Ven
Es-pi-ri-tu de a-mor. / Ho-ly Spir-it,
come to us, kin-dle in us the fire of
your love. Ho-ly Spir-it, come to us,
Ho-ly Spir-it, come to us. /
Vem Es-pi-ri-to de a-mor, vem
a-cen-der em nós o teu fo-go. Vem
Es-pi-ri-to de a-mor, vem Es-pi-ri-to
de a-mor. / Sven-to-ji Dva-sia a-teik,
tu sa-vo mei-lés ug-nj uz-de-ki.
Sven-to-ji Dva-sia a-teik, Sven-to-ji
Dva-sia a-teik. /

هَلِّمُ بِأَرْوَاحِ اللَّهِ أَضْرِمُ فِينَا نَارَ الْمَحَبَّةِ
هَلِّمُ بِأَرْوَاحِ اللَّهِ ، هَلِّمُ بِأَرْوَاحِ اللَّهِ

(Viens Saint-Esprit, allume le feu de ton amour. / Komm Heiliger Geist, entzünde das Feuer deiner Liebe. / Vieni, Spirito Santo, accendi il fuoco del tuo amore. / Przyjdź, Duchu Święty, rozpal ogień Twojej miłości. / Приди, Святой Дух, зажги огонь Твоей любви.)

Music: Jacques Berthier (1923-1994), copyright © Ateliers et Presses de Taizé, 71250 Taizé, France

TRISAGION

In English and Greek: <https://www.youtube.com/watch?v=oj6of7Vj5w>

In Syriac: <https://www.youtube.com/watch?v=FLBEzLUt2EA>

In Armenian: <https://youtu.be/gPM-BKYVpNE>

SYRIAC HYMN

<https://www.youtube.com/watch?v=nno6k0i8zd4>

Hutomo: Mshiho Ethiled

ܫܘܗܘܬܘܡܘ: ܡܫܝܗܘ ܐܬܝܠܝܕ

Qolo: Mshiho Ethiled (Ferdo Trayono)

ܩܘܠܐ: ܡܫܝܗܘ ܐܬܝܠܝܕ (ܦܪܕܘ ܬܪܝܢܘܢܐ)

Mode: 2, 6

ܡܘܕܐ: ܨ, ܦ

♩ = 80 67

Mshi - ho e - thi - led _____ ; bghaw _____ Be - thel - hem _____ ;
 msha - lin waw wom - rin _____ ; day - ko _____ e - thi - led _____ ;

wmēn _____ ma - den - ho _____ ; Mghu - shé e - thaw _____
 mal - ko _____ dlash - lo - meh _____ ; e - thayn dneb - ruk _____

li - - - qo - - - reh _____ ;
 wnes - - - ghud _____ leh ✠

Mshiho e-thi-led bghaw Bethelhem,
 wmēn ma-den-ho Mghushé é-thaw li-
 qo-reh. msha-lin waw wom-rin day-ko
 e-thi-led, mal-ko dlash-lo-meh é-thayn
 dneb-ruk wnes-ghud leh.

ܡܫܝܗܘ ܐܬܝܠܝܕ ܒܝܬ ܠܗܡ, ܘܡܫܝܗܘ
 ܥܘܠܡܝܢ ܡܫܝܗܘ ܩܘܠܐ ܐܘܗܘ ܠܒܝܬ ܠܗܡ. ܡܫܝܗܘ
 ܘܡܫܝܗܘ ܘܡܫܝܗܘ ܘܡܫܝܗܘ ܘܡܫܝܗܘ ܘܡܫܝܗܘ
 ܘܡܫܝܗܘ ܘܡܫܝܗܘ ܘܡܫܝܗܘ ܘܡܫܝܗܘ ܘܡܫܝܗܘ
 ܘܡܫܝܗܘ ܘܡܫܝܗܘ ܘܡܫܝܗܘ ܘܡܫܝܗܘ ܘܡܫܝܗܘ

Christ was born in Bethlehem, and from the East the Magi came to honor Him. They were asking, "Where was the king born? For we came to greet, bless, and worship Him!"

We Three Kings of Orient Are

1 We three kings of O - ri - ent are; bear - ing gifts we tra - verse a -
 2 Born a king on Beth - le - hem's plain, gold I bring to crown him a -
 3 Frank - in - cense to of - fer have I; in - cense owns a de - i - ty
 4 Myrrh is mine; its bit - ter per - fume breathes a life of gath - er - ing
 5 Glo - rious now be - hold him a - rise, King and God and Sac - ri -

far, field and foun - tain, moor and moun - tain, fol - low - ing yon - der star.
 gain; king for - ev - er, ceas - ing nev - er, o - ver us all to reign.
 nigh; prayer and prais - ing, glad - ly rais - ing, wor - ship - ing God Most High.
 gloom; sor - rowing, sigh - ing, bleed - ing, dy - ing, sealed in the stone - cold tomb.
 fice; heav'n sings al - le - lu - ia: • al - le - lu - ia the earth re - plies.

Refrain

Oh, star of won - der, star of night, star with roy - al beau - ty

bright; west - ward lead - ing, still pro - ceed - ing, guide us to thy per - fect light!

Text: John Henry Hopkins, Jr., 1820-1891, alt.
 Music: John Henry Hopkins, Jr., 1820-1891

THREE KINGS OF ORIENT
 8 8 4 4 6 and refrain

Lord the light of your love

(Shine Jesus shine)

Capo 2(G)

Graham Kendrick

Majestic and steady

A D/A E/A D/A A D/A

E/A D/A A D/A A E/A

1. Lord, the light of your love is shin - ing,

A D/A A E/A D E/D

in the midst of the dark - ness, shin - ing; Je - sus, Light of the

C#m F#m D E/D C#m F#m

World, shine up - on us, set us free by the truth you now bring us.

1. ربنا ربنا جه علشاننا ربنا ولد فقير زينا علشان هو حبنا

قرار

بي حبنا بي عزنا بي حبنا بي عزنا

2. ربنا ربنا جه علشاننا ربنا
أنا سعيد أنا سعيد بميالك يا ربي جياالك المجيد أنشودة تغفرح قلمي

3. العذرا فرحت ببشارة جبرائيل وقلوبنا مللت بميالد عمانوئيل

4. نجم في المشرق أضاء للمجوس وقلوبنا شموع نورها هلا القديس

5. ربنا يا يسوع يا بمجة حياتنا كن معانا كن معانا في كل أوقاتنا

Our Lord, our Lord

Our Lord, our Lord, came for us our Lord. born in the manger like us
because He truly loves us.

Refrain: He loves all of us; He redeemed all of our souls. (2)

Our Lord, our Lord, came for us our Lord. (2) I am glad, I am glad; by your birth, O my Lord, your birth in
Bethlehem a great joy to my soul.

Our Lord, our Lord, came for us our Lord. (2) The virgin rejoiced in the word of Gabriel, our hearts are happy
in the birth of Emmanuel.

Our Lord, our Lord, came for us our Lord. (2) In the east was a star shone to the wise men. Our hearts are
candles lit to the Holy Lord.

Our Lord, our Lord, came for us our Lord. (2) The angels in the sky praised the Lord for His birth. Glory to
God in the highest and peace be on earth.

Our Lord, our Lord, came for us our Lord (2)

https://www.youtube.com/watch?v=93_cM9FwSe8&feature=youtu.be&fbclid=IwAR1YUA_a0yTKpJ7WQCnjogpvNgXAwkO4E-M5dWXnoovWwHbNiESCwJgYZN8

* これらの賛歌は、2022年キリスト教一致祈祷週間の第一プロジェクトを遂行した中東教会協議会
によって提案され、その責任のもとに掲載される。

八日間の聖書の黙想と祈り

第1日

「わたしたちは東方でそのかたの星を見た」(マタイ 2・2)

あなたの完全な光に向けて、わたしたちを起き上がらせ、
引き寄せてください

- ゼカリヤ書 4・1 - 7 わたしが見ていたのは、すべてが金でできた燭台。
詩編 139・1 - 10 右のみ手をもってわたしをとらえてくださる。
二テモテ 1・7 - 10 この恵みは……今や、わたしたちの救い主キリスト・イエスの出現によって明らかにされたものです。
ヨハネ 16・7 - 14 真理の霊が来ると、あなたがたを導いて真理をことごとく悟らせる。

黙想

この不安定でもろい世界の中で、わたしたちは一筋の希望の光を遠くから探し求めています。悪のただ中で、善を待ち望みます。自分たちの内に善を探し求めますが、自らの弱さのために幾度も打ちのめされ、希望を失います。わたしたちは自分たちが礼拝する神を信じます。神は、その英知により、わたしたちが神による仲介を待ち望むようにしてくださいました。しかしわたしたちは、神の仲介が、人となられ、わたしたちの中の光となられることであるとは思っていませんでした。それは、わたしたちの想像をはるかに超えることです。わたしたちに対する神のたまものは、「力の霊であり、愛」です。わたしたちがこの完全な光に向けて進めるのは、自分の力や能力によってではなく、神の霊によるのです。

人間の闇の中で、星が東方に輝きました。その星には、わたしたちの間を引き裂く闇の根底を貫く光があります。その星の光は、歴史のある一定の瞬間だ

けきらめくのではなく、輝きながら、歴史の面立ちを変え続けています。この星が最初に出現して以来、この世界は、幾つもの時代を通して、聖霊によって促される希望を、キリストの弟子たちの生き方から学んできました。彼らは、神の歴史への働きかけと、聖霊の絶え間ない現存をあかししています。復活した主は、歴史の浮き沈みや状況の変化にもかかわらず、輝き続けておられます。そして主は、すべての人を完全な光へと導く灯台のように、歴史の流れの中を動き、わたしたちを引き裂く闇を打ち破り、輝き続けておられます。

わたしたちは、自分たちを引き裂く闇に打ち勝ちたいと願い、キリスト教一致のために祈り、働くよう駆り立てられます。

祈り

主なる神よ、

わたしたちを先導するキリストの光によって

わたしたちの道が照らされますように。

わたしたちを導き、わたしたちの中にとどまってください。

心の中にある小さな飼いや桶を見つけられるよう、

お導きください。

偉大な光はまだそこに眠っておられます。

光の創造主よ、

いつまでも輝き続ける星、わたしたちの救い主、

イエス・キリストをたまものとして与えてくださったことに感謝します。

主がわたしたちの旅を導く灯台となってくださいますように。

わたしたちの間の分裂を打ち消してください。

主において一つになれるよう、

主のおそばにわたしたちを引き寄せてください。

アーメン。

求められています。

「恵みのわざと正義」が中東だけでなく世界中で欠如している今日、中東地域からは大勢の人が国外に流出しています。それでもわたしたちには、たとえ「すべての民が騒ぎ、国々が揺らいでも」、揺り動かされない希望があります。

社会と教会の指導者は、神の民を散らすのではなく集める責任を負っています。世界や教会における分裂の大半は、地位、権力、利益を求める欲望のために起きています。キリスト者が、しもべとしてのキリストのリーダーシップに倣えば倣うほど、社会や教会の分裂はますます克服されるでしょう。わたしたちは、すべての人の幸せのために、公正さと正義と平和に向けて働きながら、羊飼いである王を謙虚にあかしし、その現存に人々を引き寄せます。

祈り

わたしたちの唯一の逃れ場、力である神、

正しく公正なあなたをたたえます。

わたしたちは、リーダーシップのこの世的なモデルをたびたび追求してしまします。

権力者の邸宅ではなく、慎ましい飼いや葉桶の中で

主イエス・キリストを見つけることができるようお助けください。

イエスの従順さに倣うことができるようお導きください。

あなたに従い、互いに尽くし合いながら、

自分を無にすることができるよう励ましてください。

あなたと霊とともに栄光のうちに永遠に治めておられる

キリストの名のもとに祈ります。

アーメン。

第3日

「これを聞いて、ヘロデ王は不安を抱いた。エルサレムの人々も皆、同様であった」(マタイ2・3)

世界を覆すキリストの存在

- ネヘミヤ4・15 夜が明けてから星が現れるころまでわたしたちは作業に就いた。
- 詩編2・1 - 10 なにゆえ、支配者は結束するのか。
- 二テサロニケ2・13 - 3・5 主は真実なかたです。必ずあなたがたを強めてくださる。
- マタイ2・1 - 5 ヘロデ王は不安を抱いた。エルサレムの人々も皆、同様であった。

黙想

主はわたしたちのもとに来られました。キリストの到来は、世間の常識に疑問を投げかけます。主は、多くの国家指導者とはまったく逆に、謙虚さのうちに来られ、力と地位への野望に付随する不正義と抑圧という悪を非難されます。イエスの到来は、回心と生き方の変革を求めます。人々の生活から人間性を奪い、苦しみを与えるすべてのものから、人々を解放するためです。だれもが神に愛される子どもとしての尊厳をもっており、それゆえ神は苦しんでいる人とともにおられることを、イエスはわたしたちにお示しになります。ですから、イエスの存在は、動揺をもたらします。イエスはまさに、自分たちの利益だけを求め、共通善をないがしろにする富裕層や権力者たちの舟を揺さぶるからです。その一方で、キリストの到来は、平和と一致のために働く者に希望の光を与えてくれます。

今日、わたしたちはこの世界に正義を実現させるために、積極的に懸命に努めるよう招かれています。ですから、わたしたちのやり方が神の正義と平和にかなっていないときには、そのことを認め、反省する必要があります。キリス

ト者が団結して正義と平和のために働くなら、その働きはますます強くなります。キリスト者がそのように協力し合うなら、わたしたちのキリスト教一致のための祈りへの答えが目に見えるかたちで示され、人々はわたしたちのうちに、現代社会におけるキリストの現存を見るようになります。わたしたちは、政情不安、社会における貧困、構造的差別のために今も闇の中にいる大勢の人々に、自分たちのことばと行いによって希望の光を投げかけることができます。神はつねに忠実であり、わたしたちを励まし、危害から守り、他者の幸せのために、なかでも苦しみ、憎しみ、暴力、痛みという闇の中にいる人々の幸せのために働くよう、わたしたちを駆り立てておられます。それこそが良い知らせ、福音です。

祈り

主よ、

あなたは闇からイエスに向けて、わたしたちを導き、

日々の生活の中に希望の星を輝かせてくださいます。

愛と正義と平和のみ国を実現させるために

協力できるようお助けください。

絶望と失意の闇の中にあるすべての人の希望の光となれますように。

主よ、わたしたちの手をお取りください。

日々の生活の中であなたに出会うことができますように。

あなたに従うわたしたちから、

恐れと不安を取り除いてください。

わたしたちの上にあなたの光を輝かせ、

わたしたちの心を燃え立たせてください。

あなたの愛が温かくわたしたちを包みますように。

わたしたちのためにご自分を無にされたあなたに向けて、

わたしたちを起き上がらせてください。

父と子と聖霊であるあなたをたたえて、

生きることができますように。

アーメン。

第4日

「ベツレヘムよ、お前は……決していちばん小さいものではない」

(マタイ 2・6)

たとえ小さく、苦しんでいても、わたしたちには何も欠けることがない

ミカ 5・1—5、7—8 お前の中から……イスラエルを治める者がでる。

詩編 23 主は羊飼ひ、わたしには何も欠けることがない。

一ペトロ 2・21—25 今は魂の牧者であり、監督者であるかたのところへ戻って来たのです。

ルカ 12・32—40 小さな群れよ、恐れるな。

黙想

御子は、ベツレヘムという目立たない小さな町からこの世界に入られました。一介の慎ましい娘の胎で人となられ、ひっそりと質素に生活することをお選びになりました。御子は、畑にまかれた麦、パンの中のパン種、わたしたちの目に映るほのかな光です。そして、その光は地上に満ちあふれています。エフラタ（ベツレヘム）という目立たない町で監督者、牧者、わたしたちの魂の守護者であるかたがお生れになりました。そのかたはわたしたちの牧者でありながらも、世の罪を担う小羊となられ、それによりわたしたちはいやされます。

ベツレヘムは、ユダの偉大な諸氏族の中では、それほど重要視されていませんでしたが、牧者の中の牧者、王の中の王がお生まれになったために偉大な地となりました。「パンの家」を意味するベツレヘムという名は、教会においては、いのちのパンを世界に届けることの比喩的表現です。教会は現代のベツレヘムであり、弱い人、無力な人、小さくされた人を受け入れる場であり続けます。教会の中では、だれもが居場所をもっているからです。そうした一粒ひと粒が集まり、収穫になります。パン種が集まると力が増します。凝縮された光線は、導きの光となります。

政治的な混乱、貪欲の文化の増長、権力の濫用に見舞われたこの世界で、キリスト者は、中東の他の人々と同様、迫害を受け、暴力と不正義におびえながら、社会から疎外されて生きています。しかし、牧者であるキリストが彼らを一つに集め、ご自分の愛の現存のしるしとしてくださり、一緒に歩いてくださるので、彼らは恐れません。彼らは一つに結ばれ、パンを膨らますパン種となり、キリストのうちに、人間の模範を見いだします。そして、分裂を克服し、一つの群れとなるよう呼びかけるキリストの声を聞きます。たとえ数は少なくとも、彼らは、世を救うために苦しまれた小羊の足取りを、苦しみながらたどっています。その数は少なくとも、彼らには確かな希望があります。彼らには何も欠けることはありません。

祈り

良い羊飼いや、

小さな群れの分裂はあなたの霊を悲しませます。

わたしたちの努力が足りず、実行が遅いために、

み旨に沿えないことをおゆるしてください。

み心にかなう優れた牧者をお与えください。

それらの牧者は分裂の罪を認め、

正義と聖性のもとに、

あなたにおける一致に向けて、教会を導いてくださいます。

主よ、わたしたちの祈りを聞き入れてください。

アーメン。

第5日

「東方で見た星が先立って進み」(マタイ 2・9)

唯一の主に導かれて

出エジプト 13・17 - 14・4 主は彼らに先立って進み、雲の柱をもって導かれた。

詩編 121 目を上げて、わたしは山々を仰ぐ。わたしの助けはどこから来るのか。

黙示録 22・5 - 9 神である主がしもべたちを照らす。

マタイ 2・7 - 10 東方で見た星が先立って進んだ。

黙想

主なる神はご自分の民とともに歩み、彼らを保護し、昼も夜も見守っておられることが、聖書には何度も記されています。道は必ずしも真つすぐとは限りません。同じ道を再びたどったり、違う道を通して戻ったりするよう仕向けられることもあります。しかし、生涯を通して旅を続ける間中、わたしたちは、「まどろむことなく、眠ることもない」神が、わたしたちの足がよろめき倒れてしまわないよう、見守ってくださいと信じることができます。

漆黒の闇の中でも、神の光はわたしたちとともにあります。神の光は、お遣わしになった預言者たちを通して輝きます。預言者は、神の民が目前にある道を進むのを導くために、また、彼らに契約を思い起こさせるために遣わされました。時が満ちると、神はもっとも完全なかたちで、御独り子イエス・キリストをお遣わしになります。イエスは、すべての国を導く光、この世における神の栄光、神から授かったいのちの源であり、ご自分の血をもって、新しい契約をお定めになります。

相互に一致し、それによりキリストとますます強く結ばれるための道筋は、必ずしも明瞭ではありません。自分たちを一致させようと懸命に努めながらも、聖書のこの根本的なメッセージをいとも簡単に見失ってしまいます。それは、ご自分の民が過ちや不和に陥っても、神は決して彼らを見捨てないというメッセージです。それは、キリスト者だけでなく、世界中の人々にとっての希望のメッセージです。東方の博士たちの話にあるように、神は星の光により、あらゆる種類の民を、世界の光であるキリストがおられるところに導いておられます。

神は、聖霊をお送りになり、聖霊のうちにすべてを一致させ、和解させるよう呼びかけておられます。聖霊の光のおかげでわたしたちは、信仰の目で御子の真理を見つめることができます。この霊は、闇や悲劇から、キリストの光といのちへとわたしたちを導いてくれるのです。

祈り

主なる神、わたしたちの父よ、
あなたは、御独り子のもとに東方の博士たちを導くために、
星を送ってくださいました。
あなたのもとで、希望を膨らませることができますように。
あなたがわたしたちとともに歩み、
ご自分の民を見守っておられることを、つねにお教えください。
見知らぬ道でも
あなたの霊の導きに従って歩み、
世の光、イエス・キリストのうちに一致できるよう、
わたしたちを導いてください。
あなたの霊に向けてわたしたちの目を見開いてください。
わたしたちの信仰を強めてください。
ベツレヘムでの博士たちのように、
イエスこそが主であると告げ、主をおがみ、
主のもとで喜ぶことができますように。

御子イエス・キリストの名のもとに、これらの恵みを願い求めます。
アーメン。

第6日

「幼子は母マリアとともにおられた。彼らはひれ伏して拝み」

(マタイ2・11)

主を囲んで集まり拝む

出エジプト3・1－6 モーセは、神を見ることを恐れて顔を覆った。

詩編84 万軍の主よ、あなたのいますところは、どれほど愛されていることでしょうか。

黙示録4・8－11 世々限りなく生きておられるかたを礼拝する。

マタイ28・16－20 イエスに会い、ひれ伏した。

黙想

遠方からベツレヘムに到着した東方の博士たちは、母に寄り添われた幼子を見て、その子を拝みました。このように、わたしたちの間に神の啓示がもたらされる時、人々は目を伏せてひざまずきます。同じようにモーセも、燃える柴を見て、神を見ることを恐れて顔を覆いました。ガリラヤの山の上で、弟子たちが復活したキリストと会ったとき、彼らは驚き、恐れしました。それでも彼らはキリストを拝みました。天上の礼拝では、24人の長老が玉座についておられるかたの前にひれ伏しました。わたしたちは、神の現存に遭遇し、このように応じます。見つめ、驚き、そして拝むのです。

わたしたちは見つめているでしょうか。驚いているでしょうか。真に拝んでいるでしょうか。神がおられることに気づかずに、盲目になっていることが何度あることでしょうか。最初に見ることができなければ、真に拝むことなどどうしてできるでしょうか。わたしたちは度々、視野が狭くなり、自分たちのやっかいなもめごとだけに目を向けてしまいます。そして、主おひとりがわたしたち皆に救いの恵みを与えてくださったこと、そして、わたしたちは一致へと導く唯一の霊を分かち合っていることを忘れてしまいます。わたしたちは往々にして尊大になり、自分たちの掟や人間の伝統に従います。そして、キリストの血

によって義とされた一つの民として、救い主イエスへの信仰のうちにとともに分かち合うよう求められている愛を、幾度もないがしろにしてしまうのです。

聖霊によって生かされている共同体であるわたしたちの教会は、一つの民としてイエスを拝むために、幼子イエスのもとに向かうよう招かれています。あわれみの霊がわたしたちを互いのもとへと導き、さらには、主おひとりのもとに、わたしたち皆をとともに導いてくださいます。その導きに従ってはじめて、わたしたちは「霊と真理において礼拝する」ことができます。神のみもとの未来は、一致と愛の未来です。その目的地への道は、キリストの唯一性という真理を映し出したものでなければなりません。

祈り

あわれみ深い神よ、
あなたは目の見えないわたしたちに、
ご自分が救い主であることを見抜く力を与えてくださいました。
あなたのあわれみによって、わたしたちの視界から、
もろもろの尺度を取り払い、
わたしたちの神、あがない主として、
あなたを拝むことができるよう導いてください。
悲しみのただ中でも、
罪の深みの中にあっても、
心からあなたを愛せるようにしてください。
使徒たちのように、心も思いも一つにして、
あなたの光とともに導かれて旅することができますように。
主イエス・キリストの恵みがわたしたちに注がれますように。
わたしたちが、霊のうちに結ばれた仲間として、
ともにあなたの栄光をたたえることができますように。
周囲にいるすべての人にあかしすることができますように。
アーメン。

かせません。主に従うことにより、わたしたちの中で、わたしたちの周りで、キリスト者の中で壊され、傷つけられたものがことごとく生氣を取り戻し、いやされ、和解するのです。

キリストはすでに、ご自分の教会に一致のたまものを与えておられます。わたしたちは、さまざまな教会が受けた恵みを分かち合い、自分たちのすべてのたまもの源は主であることを認めながら、交わりのうちに成長していくのです。

祈り

神よ、

あらゆるものがあなたを崇め、賛美し、感謝しています。

あなたは、ご自分の到来を長い間待ち望んでいた人にも、そうでない人にも、御子の顕現を通して、ご自分をお示しになりました。

わたしたちを取り巻く苦しみと、分裂による痛みをあなたはよくご存じです。

そして、奮闘するこの世界と、中東のますます悪化する現状をご覧になります。

あなたが誕生の地としてお選びになったこの中東は、

あなたの現存により聖とされた地です。

わたしたちにあなたのことをお教えてください。

遠方から来た博士とともに祈ります。

あなたの愛と、わたしたちの周りの兄弟姉妹の愛に向けて、

心を開くことができますように。

この世界を変えるために働き、

交わりをはぐくむ贈り物を交わし合う意志と、

そのための手段をお与えください。

尽きることのないあなたのたまものと祝福をお与えください。

あなたと聖霊とともに生きて治めておられる

御子イエス・キリストの名のもとにささげるこの祈りを受けとめてください。

アーメン。

第8日

「別の道を通して自分たちの国へ帰って行った」(マタイ 2・12)

慣れ親しんだ分離の道を超えて、神の新しい道へ

エレミヤ 31・31 - 34 わたしがイスラエルの家と新しい契約を結ぶ日が来る。

詩編 16 あなたはいのちの道を教えてください。

エフェソ 4・20 - 23 心の底から新たにされる。

マタイ 11・25 - 30 これらのことを知恵のある者や賢い者には隠して、幼子のような者にお示しになりました。

黙想

別の道を通して帰るよう言われ、博士たちがどう思ったかは定かではありません。彼らは占星術と航行に精通していました。とても困惑したことでしょう。しかし、彼らの旅を照らしたのと同じ光が、別の道、別の選択肢を示しました。彼らは方向を変えるよう招かれたのです。

わたしたちは往々にして、慣れ親しんだやり方や世界観に縛られています。それらの方法や「道」が閉ざされると、どうやって前に進み、旅を続けたらよいかと思い悩みます。神の摂理は、わたしたちのために別の道が準備されていることをつねに示しています。神はご自分の契約を更新し、障がいのために挫折したわたしたちを立ち直らせるために、つねにそこにいてくださいます。わたしたちがしなければならないことは、たとえ自分たちのやり方や道が行き詰まっても、永遠の神、光を与えてくださるかたが、つねに前に進む道を見つけてくださると信じることです。わたしたちがすすんで聖霊の働きに心を開くなら、いつでも新たに出発することができます。わたしたち教会は、過去に目を向け、輝きを見いだすと同時に、新しい方法を探して未来にも目を向けます。それによりわたしたちは、新たな熱意をもって福音の光を輝かせ続け、さらには、神の栄光のためにわたしたちを受け入れてくださったキリストに倣って、

互いを受け入れ合うことができるのです。

キリスト教共同体は、これまで慣れ親しんできた古い道では、互いに離れて歩んできました。神が招いておられる新しい道では、キリスト者は一緒に歩き、旅の仲間になります。そうした新しい道を探すには、識別力と謙虚さと勇気が必要です。今こそ、回心し、和解する時です。

祈り

あわれみ深い神、

わたしたちが一つの道しか知らず、

同じ道に戻らなければならないと思っているときにも、

すべての道が行き詰まり、絶望しているときにも、

あなたはいつもいてくださいます。

約束を新たにされる神よ、

あなたは、わたしたちには思いもよらない道を切り開いてくださいます。

あなたに心から感謝いたします。

わたしたちの期待をはるかに超えてくださることを。

わたしたちの理解を超えたあなたの英知を。

あなたの創造性あふれる道を通れば、思いもよらない可能性が開かれることを。

たとえ地図上で経路を見つけられなくても、

あなたがつねに、さらに優れた道へと導いてくださいます。

聖霊とともにおられるわたしたちの主、イエス・キリストを通して祈ります。

絶えずわたしたちを導き、あなたのもとに連れ戻してください。

アーメン。

中東教会協議会*

中東教会協議会（MECC）は、聖書と教会の伝承のもとに、主イエス・キリストをあがない主、神としてともに信じるさまざまな教会によって構成される共同体です。中近東教会協議会（1962年設立）の後を引き継ぎ、1974年に設立されました。MECCは、域内のエキュメニカル組織であり、キリストが誕生して生き、死んで葬られ、死者の中から復活された地で、キリストをとともにあかしする教会から成る協議会です。その活動は地理的には、イランからペルシア湾、地中海、西はエジプトに及びます。当初は、福音派、オリエント正教会、東方正教会の三つの教会によって構成されていましたが、1990年にカトリック教会が加わり、四教会となりました。これらの教会は、共通の使命を果たし、唯一の神の栄光に向けて一致するという目標をかなえるために力を合わせています。

使命

MECCの使命は、域内のキリスト者の存在を目に見えるかたちで表すものとして、キリスト教一致に向けて活動することです。その活動は、とりわけキリスト教の存続とあかしに関する問題、キリスト教とムスリムの関係にかかわる問題に対する中東のさまざまな教会の考え方と視点、姿勢を一つにすることを通して行われています。今日のMECCの主な使命は以下の通りです。

- * さまざまな教会の間の架け橋となり、障壁や偏見をなくし、復活した主をとともにあかしすること。エキュメニカルな組織であるMECCには、中東の大部分の教会が含まれます。人々が集まり、祈り、黙想し、分析し、共同声明を出し、ともに活動し、あかしする場を提供します。
- * キリスト者と他宗教の信者、とりわけムスリムとの間の架け橋となること。MECCは、人類の善に向けて、諸国民の間の友好と平和を深め、促すために、ムスリムとの対話と結びつきを強化し、発展させます。
- * 中東と他のキリスト教社会の架け橋となること。MECCは、中東のさまざま

まな教会と、他の地域にいるキリストにおける兄弟姉妹との間の仲介者なることを目指します。

中東におけるエキュメニカルな活動と課題

複雑な地政学的状況、世界的、地域的、局部的な問題のただ中であっても、MECC は中東で、エキュメニカルな神学的考察を決然と促し続けます。主にエキュメニカルな教育、コミュニケーション、ネットワークを充実させることにより、その使命を果たします。また、対話と正当な平和をはぐくむ活動も行っています。さらには、もっとも弱い立場にある人々が、生活必需品や基本的権利を得られるよう助けることを通して、エキュメニカルな人道支援や発展援助も行っています。その活動は、協議会内の教会だけでなく、長年培ってきた信頼関係のおかげで、全世界のエキュメニカルなパートナー組織からも寄せられた豊富な寄付金によって支えられています。MECC は、人間の尊厳を守り、神の被造物を大切にするという目標に向けて活動するにあたり、パートナー組織が主要な役割を果たすことを認識しています。

中東においてエキュメニカルな活動を確実に普及させるという MECC の決意はゆるぎないものです。MECC は、域内、国際フォーラムに教会の声が反映されるよう尽力しています。「市民としてのパートナーシップ」という考えに基づき新たな取り組みに、対話のパートナーとともに参加することを通して、MECC は多様性を身につけ、域内のキリスト者の使徒的使命、あかし、建設的な役割を促すために尽力しています。こうした取り組みは、イデオロギーや教義上の相違を超えて、考え方や価値観を文化的に交流させる道を切り開きます。

その上、中東の諸教会は、自らのエキュメニカルな営みやあかしに影響を及ぼすさまざまな問題に直面しています。それらの問題の多くは、中東の歴史や、宗教的、文化的な伝統、次々と起こる経済危機、中東を脅かし続ける地理的、政治的な権力闘争に深く根差しています。現在のもっとも重要な問題は、この地域におけるキリスト教の存続と結びついています。1948 年のパレスチナのナ

クバ（第一次中東戦争）以降、何十年にも渡り、レバノン、イラク、イラン、シリア、エジプトなどの国々で、紛争と政治的混乱が続いており、キリスト者の国外への流出が加速しています。それにより、悲しいことに、信者の数が減り、キリスト教の安定した存続が脅かされています。

しかしながら、中東におけるキリスト教の長い歴史の中には、停滞や衰退に瀕した時代もあれば、再生と復興の時代もあります。中東でキリスト教の存在感が薄れていることに焦点を当てる考え方もあれば、それらの共同体を力づけるあかしや霊的な生活の質に注目する考え方もあります。この二つの考え方は、決して互いに相容れないものではありません。両者は密接に結びついています。キリスト教の存続は、その使命のために役立つのはじめて、意味をなすからです。中東におけるキリスト者の主な使命は、多様性——人間性においても、教会一致や他宗教対話の観点においても——を守るために、また、直面している共通の課題を乗り越える力をつけるために、同じく市民であるパートナーと一緒にあかしできるかどうかにかかっています。

21世紀には、中東の激動の歴史における一つの分岐点がありました。この20年の間、いくつかの国で政治体制が崩壊し、社会のあらゆる側面で大きな変化が起きました。中東は、継続する軍事紛争、経済を復興する力の低下、社会構造の弱体化、人口構造の変化、価値観の軽視のために苦しんでいます。

中東のキリスト者とそのあかしは、これらの長引く危機と紛争により、甚大な影響を受けています。ですから、すべてのエキュメニカル・パートナーと他の人道支援及び開発支援団体が、キリスト者の数が激減している現状とその影響を正しく把握する必要があります。西欧諸国による中東への介入の多くは、東側の国々の必要としている事柄に対して、「西側の考え方」のもとに対処するものです。こうした介入は、今のところ、中東の教会や人々の考え方を十分、反映していません。教会、個人、各国政府は、キリスト者のあかしが持続できるかどうか疑問視しており、それにより、キリスト教の未来そのものが危ぶま

れています。ですからキリスト教共同体は、教会の役割と仕組みについて再考しています。キリスト者は中東とこのグローバル社会に、どんな「市民としてのパートナーシップ」の模範、多様性の模範、さらにはムスリムとユダヤ教信者との共存の模範を提示できるでしょうか。そして最後に、公正で平和で持続可能な新たな中東のために、MECC はどんな使徒的役割を果たせるでしょうか。

さまざまな課題に直面して

これらの課題に立ち向かうために、MECC は次のような活動モデルを設けています。

1. 共通の務めの変革につながる、教会の再生と神学の刷新のために尽力する。その際には、社会の不正義や蔓延する暴力のために苦しい立場に追いやられている若者たちには、重大な役割があることを強調する。若者が直面している問題は、インターネットやソーシャルメディアによりさらに悪化している。それらは、若者たちが中東における自分たちの人生の未来を疑問視するよう仕向けている。
2. 忠誠心の分極化が進む中で、共存、受け入れ、宗教的多様性の既存のモデルの範囲を押し広げる。この点において、中東における避難民の窮状に対処し、多く移住者、国内労働者の要望に応えるよう尽力する。また、だれもが公正で実現可能な平和を取り戻せるよう努力する。特に懸念されるのが、パレスチナ難民に対する正しく持続可能な解決策の欠如、速度は遅くとも着実に進められているエルサレムと西岸地区からのパレスチナ人の排除、中東の他の国々におけるパレスチナ人に対する差別と排除である。こうした不当な扱いは、何年間も移住を強いられ、心に痛手を負った人々の尊厳と権利を踏みにじり、彼らからチャンスを奪っている。MECC のパレスチナ難民局 (DSPR) は、つねにこの問題に対処している。

MECC はこのように多くの問題をかかえています。MECC を存続させよ

うという多くの教会指導者の決意によって力づけられています。また、キリスト者の中の相乗効果と団結を高める活動においては、中東のキリスト教神学者や、教会、共同体の指導者に支えられています。MECC はキリストの光が東方でこれまで以上に輝くよう、活動し、祈り続けます。

注)

*このテキストは、2022年キリスト教一致祈禱週間の草案を作成した中東教会協議会の権限と責任によってのみ複製される。

◇キリスト教一致祈禱週間のテーマ一覧（1968-2021年）◇

1968年、世界教会協議会（WCC）信仰職制委員会と、教皇庁キリスト教一致推進評議会が共同発行した冊子が初めて使用されました。

- 1968 神の栄光をほめたたえるに至るために（エフェソ 1・14）
- 1969 自由への召し（ガラテヤ 5・13）
- 1970 わたしたちは神の同労者である（一コリント 3・9）
- 1971 聖霊の交わり（二コリント 13・13）
- 1972 わたしは新しいおきてをあなたがたに与える（ヨハネ 13・34）
- 1973 主よ、祈ることを教えてください（ルカ 11・1）
- 1974 すべての舌が「イエス・キリストは主である」と告白するように（フィリピ 2・1-13）
- 1975 すべてはキリストのもとに（エフェソ 1・3-10）
- 1976 わたしたちはまことの姿になるよう召されている（一ヨハネ 3・2）
- 1977 ともに希望をもって屈せず（ローマ 5・1-5）
- 1978 もはや他人ではない（エフェソ 2・13-22）
- 1979 み栄えのため互いに仕えよう（一ペトロ 4・7-11）
- 1980 み国が来ますように（マタイ 6・10）
- 1981 一つの霊 多くの賜物 一つの体（一コリント 12・3b-13）
- 1982 主こそわがやどり（詩編 84）
- 1983 イエス・キリスト—この世の生命（一ヨハネ 1・1-4）
- 1984 主の十字架は一致への道（一コリント 2・2, コロサイ 1・20）
- 1985 キリストとともに死から生命へ（エフェソ 2・4-7）
- 1986 我が証人となれ（使徒言行録 1・6-8）
- 1987 キリストにあつてともに新しく（二コリント 5・17-6・4a）
- 1988 愛は恐れをとりのぞく（一ヨハネ 4・7-21）
- 1989 キリストに結ばれて一つのからだに（ローマ 12・1-21）
- 1990 キリストの祈りのうちに（ヨハネ 17）
- 1991 すべての国よ、主を賛美せよ（詩編 117, ローマ 15・5-13）
- 1992 わたしはあなたがたとともにいる。だから行きなさい。（マタイ 28・16-20）

- 1993 聖霊の実はキリスト者の一致を生む（ガラテヤ 5・22-23）
- 1994 神の家族・心も思いも一つにして（使徒言行録 4・23-37）
- 1995 コイノニア・神にある交わり、お互いの間の交わり（ヨハネ 15・1-17）
- 1996 見よ、わたしは戸口に立って、たたいている（黙示録 3・14-22）
- 1997 神と和解させていただきなさい（二コリント 5・16-21）
- 1998 “霊”は弱いわたしたちを助けてくださる（ローマ 8・14-27）
- 1999 神が人と共に住み、その神となり、人は神の民となる（黙示録 21・3）
- 2000 神はほめたたえられますように。神はわたしたちをキリストにおいて祝福で満たしてくださった（エフェソ 1・3-14）
- 2001 わたしは道、真理、いのち（ヨハネ 14・6）
- 2002 神よ、命の泉はあなたにある（詩編 36・6-10）
- 2003 わたしたちは、このような宝を土の器に納めています（二コリント 4・7）
- 2004 わたしの平和を与える（ヨハネ 14・27）
- 2005 教会の土台であるキリスト（一コリント 3・1-23）
- 2006 二人または三人がわたしの名によって集まるところには、わたしもその中にいる（マタイ 18・18-20）
- 2007 耳の聞こえない人を聞こえるようにし、口の利けない人を話せるようにしてくださる（マルコ 7・31-37）
- 2008 絶えず祈りなさい（一テサロニケ 5・(12a) 13b-18）
- 2009 それらはあなたの手の中で一つとなる（エゼキエル 37・15-28）
- 2010 あなたがたはこれらのことの証人となる（ルカ 24・48）
- 2011 使徒の教え、相互の交わり、パンを裂くこと、祈ることに一つ（使徒言行録 20・42 参照）
- 2012 わたしたちは皆、主イエス・キリストの勝利によって変えられます（一コリント 15・51-58 参照）
- 2013 神が何をわたしたちに求めておられるか（ミカ 6・6-8 参照）
- 2014 キリストは幾つにも分けられてしまったのですか（一コリント 1・1-17）
- 2015 イエスは「水を飲ませてください」と言われた（ヨハネ 4・7）
- 2016 主の力あるわざを、広く伝えるために招かれて（一ペトロ 2・9 参照）

- 2017 キリストの愛がわたしたちを駆り立てています（二コリント 5・14-20 参照）
- 2018 主よ、あなたの右の手は力によって輝く（出エジプト 15・6）
- 2019 ただ正しいことのみを追求しなさい（申命記 16・20）
- 2020 人々は大変親切にしてくれた（使徒言行録 28・2 参照）
- 2021 わたしの愛にとどまりなさい。そうすれば、あなたがたは豊かに実を結ぶ。（ヨハネ 15・5-9 参照）
- 2022 わたしたちは東方でそのかたの星を見たので、拝みに来たのです。（マタイ 2・2）

◇キリスト教一致祈禱週間に関する歴史上の重要な年◇

1740年頃 スコットランド	スコットランドで起こり、北アメリカ大陸まで及んでいった聖霊による働きに目覚めた人々がいた。それは諸教会を包む信仰覚醒運動の祈りであった。(メソジスト運動)
1820年 ジェームス・H・ スチュアート	ジェームス・H・スチュアート神父の著作が出版された。 “Hints for the General Union of Christians for the Out-pouring of the Spirit”
1840年 イグナティウス・ スペンサー	ローマ・カトリックへ改宗した、イグナティウス・スペンサー神父は、「一致のための合同の祈り (Union of Prayer for Unity)」を提唱した。
1867年 ランベス会議	聖公会の主教たちによる第1回ランベス会議が行われ、一致祈禱についての転換の前兆となった。(1920年のランベス会議決議では、「教会の再一致の訴え」を協議した。)
1894年 教皇レオ13世	ローマ教皇レオ13世は、聖霊降臨に関連して、一致のために八日間の祈りの実施を奨励した。
1908年 ポール・ワトソン	「教会一致のための八日間の祈り」が、ポール・ワトソン神父によって初めて行われた。
1926年 信仰と職制運動	信仰と職制運動は「キリスト教一致のための八日間の祈りの提案」を広める活動を開始した。
1935年 ポール・ クトゥール	フランスのポール・クトゥールは「主の意志によってキリスト教が一致しようとする」祈りを基に包括した「普遍的なキリスト教一致祈禱週間」を提唱した。
1958年 “Unité Chrétienne”	“Unité Chrétienne” (フランス、リヨン市) と WCC (世界教会協議会) の信仰職制委員会は、祈禱週間のために資料を協同で準備し始めることとなった。
1964年 エルサレム	教皇パウロ6世と総主教アテナゴラス1世が、共にイエスの祈り「すべての人を一つにしてください」(ヨハネ17章)を唱える。
1964年 第二バチカン 公会議	第二バチカン公会議の「エキュメニズム教令」ではエキュメニカルな運動の精神とキリスト教一致祈禱週間の遵守することを強調した。
1966年 信仰職制委員会、 一致推進秘書局	WCC (世界教会協議会) の信仰職制委員会とキリスト教一致推進秘書局 (現教皇庁キリスト教一致推進評議会) は、祈禱週間テキストについて公式な協同の準備を開始した。
1968年 第1回教会一致祈 禱週間	第1回「キリスト教一致祈禱週間」は、「信仰職制」のテキストに基づいて行われ、それはキリスト教一致推進秘書局と協同で準備された。

1975 年 地方教会による一致 祈祷週間冊子	地方教会のエキュメニカル・グループが作成した草案に基づくキリスト教一致祈祷週間の冊子を初めて使用。この年の草案を作成したのはオーストラリアのグループ。
1988 年 マレーシア・キリ スト教連盟	マレーシア国内の主要キリスト教教派の連合のマレーシア・キリスト教連盟が大会開会礼拝でキリスト教一致祈祷週間冊子を使用。
1994 年 YMCAとYWCA	YMCAとYWCAが協力して1996年キリスト教一致祈祷週間テキストを作成。
2004 年 キリスト教一致祈 祷週間冊子	以後、キリスト教一致祈祷週間の冊子を、信仰職制委員会(WCC)と教皇庁キリスト教一致推進評議会(カトリック)が同一の体裁で協同制作・出版することが合意された。
2008 年 100 周年	キリスト教一致祈祷週間開始 100 周年(教会一致のための八日間の祈りが 1908 年に初めて行われた)。
2017 年 宗教改革 500 周年	宗教改革 500 周年にあたり、ドイツの教会が 2017 年キリスト教一致祈祷週間冊子の草案を作成。

<お願い>

この種の出版や今後の共働を推進するために、全国のキリスト者の皆様のご理解とご支援を心から期待しております。合同祈祷会の献金の一部、あるいは有志の献金を多少なりともお送りくだされば、事務局の活動の大きな励ましと支えになります。ご協力をお願い申し上げます。

日本キリスト教協議会

169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18-24

TEL 03-6302-1919 FAX 03-6302-1920

郵便振替 00180-4-75788 『日本キリスト教協議会』

カトリック中央協議会

135-8585 東京都江東区潮見2-10-10 日本カトリック会館内

TEL 03-5632-4445 FAX 03-5632-4465

郵便振替 00130-6-36546 『宗教法人カトリック中央協議会一般会計口』
(通信欄に「キリスト教一致祈祷週間」と明記してください)